

搭載

0219

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

<http://www.jacar.go.jp/>

大正三年三月九日 起案者 捺印

三月十六日 發付係 捺印

發付後起 案者捺印

(核案)

經政水部長

第三部長

部員

大臣

副官

第四部長

次官

參事官

第一部長

第二部長

會計課長

軍務局長

局員

經理局長

勝

局員

久野

局、部	受月日	發月日
官		
軍務		
人		
醫務		
經理	3-3 12	3-3 14
司法		
鑑政		
教育		
臨建		
水路		
軍令		

大正三年三月十六日
 吳鎮第三四二號ノ二軍艦丹後汽艇
 韓崎ニ引換搭載ノ件認許ス
 但工事方案(固而ノ係)重量増減及入費概算ヲ別報告

號番

官房第六〇〇號ノ二

母

軍

四
3-10
10/34
發付後起
案者捺印
自由

部 受月日 發月日

國務院
軍務局
陸軍部
海軍部
內務部
外務部
農商部
司法部
教育
建設
交通

經理
3-3
12
3-3
14

令 路 建 育 政 法 理 務

三月十四日

大口官局受
1E 復又 y

洞 報 告

軍

田

海軍部

陸軍部

50

丹後塔載汽艇

二隻ト長三十六呎


韓崎汽艇

長三十呎ナリ

艦政本部第三部

田

0221

								ろ ろ ろ
								海
								軍
								

0222

主
軍務
海軍

吳鎮守府第三四二二號

大正三年三月四日

吳鎮守府司令長官代理

海軍中將 村上 格

海軍大臣男爵齋藤實殿

軍艦丹後汽艇一隻ヲ韓特ニ引換搭載ノ件

韓特汽艇一隻經年使用ノ結果機関部其他大修

理ヲ加フルニ堪ヘザルニ至リ全艦之長ク修理

請求可晒工場於テ検査結果船体並機関特ニ難

ノ衰耗甚シク最早大修理ヲ加フル價値ナキニ至リ工事

施行方取止ノ爲メ引換ヲ要スル次第ニ有之ニ夫處艦艇

ノ小蒸汽艇ヲ新製ヒテ引換ヲナカキ目下ニ於テ修

官房第六〇〇號

海軍

0223

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

理費、按排、到底豫期シ難キ有様ニ于差當リ相
当ノ方法ナキヤ調査ノ結果若シ轉寄ニ於テ現在ノ
ツト位置ヲ変更シ其ノ他二三ノ輕微ナル船体補強工
事等ヲ施スモノトモ、軍艦丹後ノ汽艇二隻中ノ一
隻ヲ搭載シ得可キ見込有之丹後目下ノ役務ニ對
シテ汽艇ハ他ノ一隻支テモ大ナル障害ハ無之而轉
崎ハ母艦トシテ頻繁ナル汽艇ノ必要アリ他ノ一隻ノ
テハ任務上ニモ支障ヲ及ボス一々余此際丹後ノ汽
艇一隻ヲ轉崎ニ引換搭載方所詮議相成度
右具申ス

(注)

0224

起案郵紙

大正乙年八月十日 起案 捺印

八月十日 發付 捺印

發付係 捺印

3.10 捺印

(提案)

郵政本部長

第三部長

吉野

大臣

副

第一部長

藤原

次官

參事官

第二部長

英三郎

軍務局長

局長

田中

軍令部

經理局長

第一班

第二班

白

八

三

次長

電

信

訓

令

案

軍令	水路	臨建	教育	郵政	司法	經理	醫務	人事	郵務	局部
										受月日
										發月日

豐橋大軍需品輸送用、運送船中又駒橋丸

大正三年八月十日

海軍大臣

八月十日

5350

0225 9.12

号型潜水艇二隻ノ母艇トシテ使用ナラズニ付(直)者ナリ修理
 阪道工事一施行セシ(イ)工事方案内費豫算
 等報告ヲ要ス
 (終)

海軍様
 為
 (印)

耳



0552

9220

紙 野 案 起

820 111

大正三年八月廿一日起案 起案者 捺印

八 伍

八月二十二日發付 發付係 捺印

發付後 捺印

政艦 3.8.21 受接

大臣

(捺案)

次官

參事官

副官

參事官

陸軍部 第三部長

艦政本部長特務

第三部長

外務

郵政

八 伍

會計課長

陸軍部 第二部長

陸軍部 參事官

陸軍部 參事官

陸軍部 參事官

陸軍部 參事官

陸軍部 參事官

軍務局長

田

局員

田

田

大正三年八月二十二日

午後二時 二十分電了

大臣

電信指令

橫鎮長官

橫鎮機密第六四九号 除籍 驅逐艦五隻 帆布艇 搭載 1 件

號番

軍

軍

軍令	水路	臨建	教育	艦政	司法	經理	醫務	人 軍務局接案	軍務	官房	局部
											受月日 發月日

八月廿一日 大臣官房受

8550

0227

詔許

終

大正三十八年

...

...

...

...

Main body of the document containing multiple columns of vertical text, including names and dates.

Vertical text on the left margin, possibly a title or reference information.

9250

0228

至急

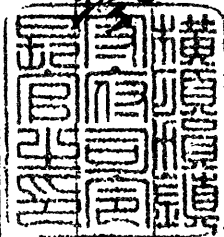
總政本部

横須賀密第

四九號

大正三年八月二十日

横須賀鎮守府司令長官伊地知季珍



海軍大臣八代六郎殿

第三部 第二部

會計係籍驅逐艦ニ保管雜役船搭載ノ件

今般官房機密第五。七號ノニヲ以テ除籍驅

逐艦支月以下五隻使用方訓令相成候ニ

付左記ノ通り帆布艇搭載方脚認許相成

度

右申上ス

追々本件ハ急ヲ要スルニ付電報訓令相

八月廿一日



0223

成度

文月へ二隻

本年六月神風還納帆布艇(長丈呎中六呎八吋 深二呎) (毛) 一隻

漣へ二隻

本年七月如月還納帆布艇(右全) (毛) 一隻

敷波へ二隻

本年七月初霜還納帆布艇(右全) (毛) 一隻

卷雲へ二隻

本年八月彌生還納帆布艇(長五米六。中一米。深九二。〇。) (毛) 一隻

泉月へ二隻

本年八月霞還納帆布艇(長丈呎中五呎 深三呎) (毛) 一隻

本年四月泉月還納帆布艇(長丈呎中六呎 深二呎) (毛) 一隻

0230

還納帆布艇

紙 郵 案 起

大正乙年 九月六日 日起案 起案者 捺印

九月八日 日發付 發付係 捺印

發付後起 案者捺印

(理事)

總政本部長 村登

第三部長 田部

第四部長 田部

大臣

次官

參事官

會計課

軍務局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

軍務局長 局長

局長

局部	受月日	發月日
官房	3月9日	九月八日
軍務	軍務局接受	九月八日
人事		
醫務		
經理		
司法		
鑑政		
教育		
臨建		
水路		
軍令		

大正乙年 九月八日 電信指令案

佐鎮極密力之入号ノ之之能野丸裝載用汽

佐鎮司令長及了了

九月七日 大田海軍

0535

0231

船件認許

(修)

計

算

Handwritten text, possibly a signature or official stamp, oriented vertically.

A large rectangular area containing a grid of faint, illegible text or stamps, possibly a ledger or official record.

Vertical text on the left margin, including characters like '大正' (Taisho) and '日' (day).

1330

0232

政本部

第三部
第四部
會計課

軍務局

大正三年九月三日

大正三年九月三日

佐世保鎮守府司令長官藤井

海軍大臣八代六郎殿

長官印

佐世保鎮守府司令

熊野丸裝載用汽艇、件

水雷艦熊野丸裝載用トシテ徵傭豫定ノ汽艇
二隻ノ内一隻ハ右裝載用トシテ不適當ニ有之候處
差當リ他ニ徵傭スルハ不適當ノ事モ無之候ニ就テ
下當港務部ニ於テ保管中ノ白軍艦鈴告ヨリ還
納ノ汽艇ヲ充當為致度候條御認許相成度
右止申ス

電報御指令相成度

政權 3.9.6 受接

0233

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

九月五日
公報
坊

取付
坊

軍務局

却付
坊

運送私單之橋凡... 大に托院系、如中重量
物、托院系、出表、又五分、無總、送院、一、通
先不可能、十、)

三事

九月十三日起 案
月十四日 發行 濟



軍



(花附納)

0235

漢語



兵部 陸軍

軍務局長

供賢



五月十一日起案

五月十六日發付済

第一部

海軍省軍務局長

陸軍省軍務局長殿

日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸 日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸 日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸

日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸 日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸 日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸

日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸 日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸 日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸

日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸 日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸 日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸

日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸 日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸 日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸

日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸 日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸 日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸

日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸 日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸 日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸

日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸 日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸 日本製鋼所 鋼材 運送 船 高崎 丸 若宮 丸

軍務一七六

114

大官署



海

軍



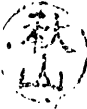
1/5

0236



四
四
四

軍務局



局員



海



軍

大正三年

六月二日起案
六月四日發行濟

原高員

常松佐領參謀丸

日本製鋼所、依款ニ依リ物不搭載ノ件
本年ノ開シ九月廿日附号外ヲ以テ亦照公ノ起リ
系右ニ御披露見解ノ運送迄迄者ニ其ノ所
所願者ニ於テ物不搭載ノ開シ並ニ格別中製
鋼所ノ依款ニ依リ善友ナキ也起者ニ右ニ其ノ
亦了知者ノ復

右
同定ル

軍第一九七號

上海軍運送部 室南寄港一隊 日有取付
鋼所ノ運送部ニ向ス



0237

一七七

大正三年六月四日

原軍務局局長

海軍

野崎横路参謀長

日本製鋼所、依頼、依、物品搭載、開、之件

本件、関、別紙、甲種、通、常、松、修、保、鎖、等、参、謀

日、照、令、前、之、乙、種、通、回、答、致、置、也

右、為、念、通、條、也

(花崎)

0238

号外

大正三年五月廿日

常松佐世保鎮守府参謀

原海軍省軍務局々員殿

日本製鋼所ノ依頼ニ依ル物品搭載ニ關スル件

軍第一七六號ヲ以テ運送船高崎丸若宮丸カ日本製鋼所ノ依頼ニ依リ搭載スル海軍ヨリノ注文品等ノ品名数量ヲ其ノ都度當該運送船ヨリ貴局ノ通報セシキ旨貴局長ヨリ市村参謀長ノ御申越相俟候処右ニ依リ運送船長ノ其ノ所屬鎮守府ノ物品搭載ニ就キ直接日本製

一九七

0239

鋼所ノ依頼ニ應ジ差支ナキ御趣旨候ヤ將又物出格載ノ
コトニ關シテ其ノ都度大臣ヨリ訓令書ノ形式ニ依リ凡モナリ
ヤ所扱上疑義ヲ生ズ候事何分ノ御回事ヲ得度
右照会ス

(經)

佐世保紙合資會社納

0240

起案罪紙

抄

大正三年九月廿九日起案

起案者 捺印

九月二十七日發付

發付係 捺印

發付後起 案者捺印

(捏造)

艦政本部長村邊

第三部長

田

部員

大臣

次官

參事官

副官

會計課長

軍務局長

田

部員

第三部長代

田

部員

田

部員

田

部員

田

軍務局長

田

部員

田

部員

田

部員

田

部員

田

軍令	水路	臨建	教育	鑑政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局、部
									3月26日		受月日 發月日

大正三年九月二十七日
 横領機密第六四九号ノ一掃海船ニ端舟追加搭載ノ
 件認許ス

海軍大臣

田

番號

官房部第九六三號二

庄

直

SASO

0241

<p>日本書紀卷之六十四</p>	<p>大正十一年</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>	<p>...</p>
------------------	--------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------	------------

1450

0242

至急

軍務局

艦政本部

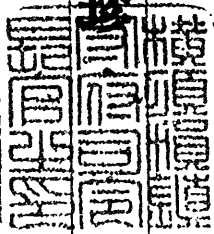
第三部
第二部
會計課

横須賀第六四九號ノ四

大正三年九月二十二日

横須賀鎮守府司令長官 伊地知季珍

海軍大臣八代六郎殿



九月廿三日
海軍省接受



掃海船端舟尾加搭載ノ件
九月九日以下五隻ノ掃海船ノ帆布艇名
式集ヲ搭載方八月二十日横須賀機密第
文四九號上申ニ対シ同月二十二日電
信認認方認認方認認方認認方認認方認認
右 上申ス

九六三號

毎

宣

0243

アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp/

掃海船名	後載	「ギグ」	後載	「ゲンキ」
文月丸	志隻	旧文月搭載ノモノ	志隻	旧文月搭載ノモノ
皐月丸	志隻	旧皐月搭載ノモノ	志隻	旧皐月搭載ノモノ
連丸	志隻	旧連搭載ノモノ	志隻	旧連搭載ノモノ
卷雲丸	志隻	旧卷雲搭載ノモノ	志隻	旧卷雲搭載ノモノ
波波丸	志隻	旧波波搭載ノモノ	志隻	旧波波搭載ノモノ

終

0244

子

艦政本部

軍務局

田原

海

軍艦兵器

木下軍

十月五日 起案
午前一時五分 發電濟

田原島

佐領劉少光

電報

客運運補働服ノ件認許ノストニ由テ議中

本件ハ修路中ノ一八三ノ中一ノ身三四六ノ持後ニ對シ修路日ノ
軍務局ノ意見ヲ承テ多クニ認許セシメ可成トシ認許セ
又七ノ子四ノ回五七二ノナリ

花崎

0245

承 批 符

大正三年十一月 日起案 起案者 捺印

十一月三十日 發付 發付係 捺印

發付後起 案者捺印

四 五 27 3/11 安持

(提象)

總政本部長 村松

第三部長

第四部長

第五部長

大臣

次官

參事官

副官

會計課長

第二部長

第三部長

第四部長

第五部長

軍務局長

秋山

局員

田原

原

原

經理局長

藤

主任局員

藤

軍令	水路	臨建	教育	鑑政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局部
						經理局 3-11-29			軍務局 3-11-29	土女九	受月日 發月日

大正三年十一月三十日

佐鎮第一七号ノ八之軍艦並置機働艦搭載ノ件

海軍大臣

藤

號番

官房第三四六一號二

庫

庫

(終)

之 為 者 人 之 為 者 志 也

國
五
政
3-11
接

後起
捺印
年月日
發月日

廿九

河部
十
九

局
接
受

3-11
29

6
2
9

清水

件
原
始
簿
原
始
簿

之
者
之
特
石
炭
の
消
耗
量
の
増
加
ヲ
為
ス
ル
ニ
付
テ
切
實
な
回
答
ヲ
希
ム

農政本部第二部

0248

官房第三四六號ノ三

大正三年十月三十日

海軍大臣

横濱司令長友ア

電次ハシ
五番ノハ

軍艦之置機働船搭載仰

横濱海軍港務部臨時附屬公称第三六八号汽船
軍艦之置搭載方係保鎮寺村司令長官ヲ上申
下リ認許
同船練習船之間續度ス義ハ心得

左訓令云

(終)



軍務局

艦政本部

第四部

第三部

會計課

附註

佐鎮第一七 號、八三

大正三年十月十八日

佐吉保鎮守府司令長官代理

局長

海軍少將 伊藤乙次郎

海軍大臣八代六郎殿

佐吉保鎮守府司令長官印

笠置之機働艇搭載、件一三八噸汽艇

下高葛城還納機働艇（公稱第三六八號）一隻

右ハ量之官房第九七三號之依リ横須賀水雷隊

用トシテ横須賀海軍港務部臨時付屬下定メ

之タルモノニテ今度今度笠置ガ機働艇少尉候補生練

習艦之ニ當リ其ノ固有機働艇一隻、之ニテ練

習艦務遂行上遺憾不敷候ニ付同艦ガ練習艦

0250



隻 高隊 生線 練 白艦

命令 軍務局 30115 21

3.11.21 21 23

本件横須賀鎮守府ト交渉
濟二付申添候
佐吉保鎮守府副官
海軍省副官殿
0251

本件之関シ貴部意見見義
知致度
六月廿四日
第三部
第...
御中

中平 忠許 為 一 年 上 湯 美
江 東 正 部 氏 一



0252

タレ期間更之前記ノモノ一隻搭載セトメ度
右申ス

追テ右様働艇搭載ニ特ニ工事ヲ要セサル儀ト
付申添候

（終）

0253

大正三年十一月二日 起案者 捺印

十一月三日 發付 捺印

發付後起案者捺印

提案

大臣



次官



參事官

副官



總政本部

第三部長



部員

會計課長



第二部長



外波



水谷



軍務局長



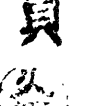
局員



經理局長



局員



局部	受月日	發月日
官房	一二三	一二三
軍務局	接	受
人事	三	二
醫務	三	二
經理	三	二
司法	三	二
鑑政	三	二
教育	三	二
臨建	三	二
水路	三	二
軍令	三	二

電報指令

大正三年十二月三日

海軍大臣

佐鎮第八五号日驅逐艦白妙還納、千二ギ驅逐艦村雨、搭載件認許ス

號番

十月三十一日早六時五分發着

0522

0254

後領第八五五號

大正三年十一月二十五日

佐世保鎮守府司令長官 藤井 較

海軍大臣 八代六郎殿

還納端舟使用件

軍務局

一、ギンギー一隻 艀装品 ペインダー一個

旧驅逐艦白妙還納ノモノ

艦政本部

第三部 會計課

右、今般第十三駆逐隊司令ヨリ 駆逐艦村兩搭載
端舟(艀装品共)七隻ニ付 補充方請求有之候ニ付
代艦トシテ今般ニ搭載セシメ度候条 御認弁相成度
右 上申ス

官房録三五六八號

海軍

終

1914年11月25日

8.1128

紙 郵 案 起

大正五年十二月

日起案 起案者 捺印



十二月十五日

日發付 發付係 捺印

發付後起 案者捺印

3.12.15 郵政一

現案

總務部長 村松

第三部長

第一部長 出陣

第四部長

第二部長

計謀部長

副官

參事官

大臣

次官

軍務局長



局長



大正五年十二月十五日

海軍大臣

橫鎮司令長官

内務省 船橋 換

八月十五日 官房第三六一號

號番

官房第三六一號

軍令	水路	臨建	教育	鑑政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局、並、並、有留
											發月日

8290

0257

抄方

十音寺由

漢

留 發月日

起印

加印

3.12.12
郵政一等
郵便

0250 0257



12-7

本集法裁済公券
副方及子
電信子急報丸
成時氏



0258

訓令よん内公船一隻以降若實丸より取卸し奉
 船朝日搭載方取計つし
 右洲へ送り
 (終)

0525 0259

紙 郵 案 起

大正三年八月

日起案

起案者 八

八月十二日發付

發付係

捺印

發付係

捺印

大臣

次官

參事官

郵政本部長

第三部長

副

第一部長

第二部長

第四部長

會計課長

第二部

軍務局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

局長

大正三年八月十二日

海軍大臣

横領司令官

六月廿四日官房第一八七八号の海軍艦朝日試用

號番

官房第一三三八號

軍令	水路	臨建	教育	鑑政	司法	經理	醫務	人事	軍務	官房	局部
									八月十日	受月日	發月日

政艦 3.8.12 受接

8.11 發付係

8.24 發付係

0581

0260

方訓令之し各内火艇二隻内三十呎カワター一隻此
 際取付核母艦若完丸ニ搭載方取計アリ
 右訓令云々

備考
 本例二軍令部が二班往來之儀アリ

0380

0261